

銘柄分析レポート：インフレに備える

1. はじめに

下のグラフは、消費者物価指数（CPI）の推移です。2000年代に入ってから、消費者物価がデフレ気味に推移したため、預貯金は悪くない運用先でした。

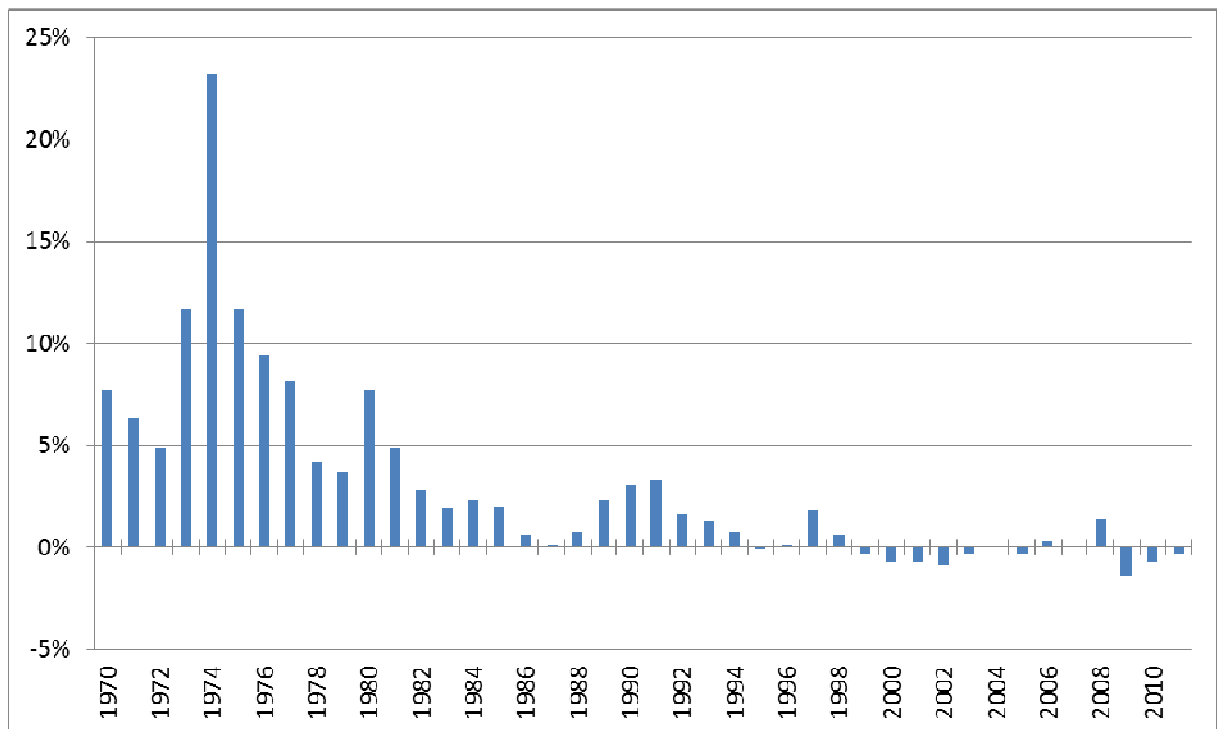
物価が下落傾向であれば、たとえスズメの涙のような預金金利でも、購買力を維持することができたからです。

「貯蓄から投資へ」というスローガンもむなしく、我が国では株式投資がなかなか根付きませんでした。国民は賢明な選択をしていたともいえます。

ただし、このような“ある意味で幸せな時期”がいつまでも続くとは限りません。現に、安倍政権はデフレ脱却による日本経済の復活を目指しています。

そうであれば、投資家としては、インフレに備えておく必要がありそうです。

★消費者物価指数（CPI）の推移



総務省統計局の公表データより筆者作成